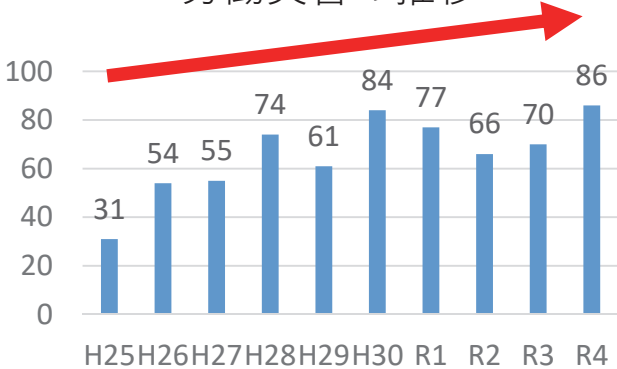


# 労働災害を防止しましょう！

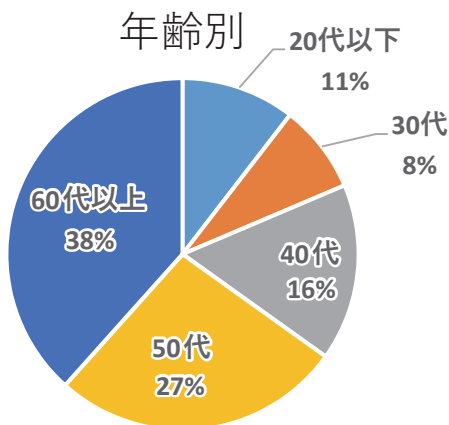
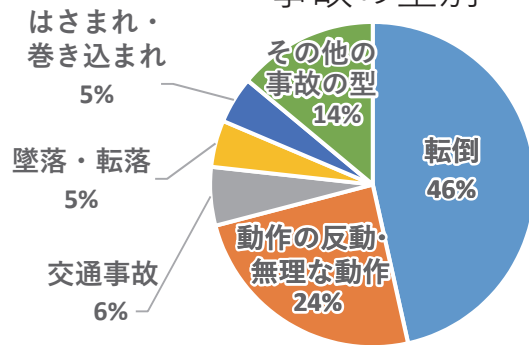
全国的に労働災害は長期的に見て減少傾向にありますが、介護施設に注目してみると、労働災害の減少傾向は見られません。介護施設における労働災害の特徴や対策を知り、効果的に労働災害を防いでいきましょう。

## 福井県内の社会福祉施設の労働災害発生状況（令和4年） （新型コロナウイルス感染症によるものを除く）

労働災害の推移



事故の型別



### Point!

- ☞ 社会福祉施設の労働災害は増加傾向にあります。
- ☞ 事故の型としては、転倒災害が半分近くを占めています。
- ☞ 労働災害被災者の年齢別で見ると、50代以上が6割以上を占めています。

※ グラフは休業4日以上ものを集計したものです。

## 福井県内の労働災害事例

### 転倒

段差や物につまづく。  
足がもつれて転ぶ。  
水で濡れた床で滑る。  
凍結や積雪で滑る。  
(令和4年の社会福祉施設の  
転倒災害のうち、  
**45.0%が休業1ヶ月以上**)



### 動作の反動・無理な動作

入所者をベッドから車椅子に移乗させようとして、腰を痛めた。  
利用者が不安定に立っていたのを、支えようとして、ふくらはぎを痛めた。



# 労働災害防止に取り組まないと...

労働災害が発生すれば、被災者の補償や損害賠償を払わなければならない事態になったり、人手不足になったり、行政処分を受けたり、社会的信用を失ったりとたくさんのデメリットがあるだろうことは容易に想像できますが、そもそも労働災害防止に取り組まないことで生じるデメリットなどもあります。

- ・従業員のモチベーションが下がる
- ・業務効率が下がる
- ・イメージダウン
- ・危険に鈍感になる
- ・ヒヤリハットなどのトラブルが増える
- など

## 対策事例紹介

### 転倒災害防止



- ・床面の凹凸の解消。
- ・掃除等により床が濡れていないような状態にする。
- ・転倒災害発生箇所を構内平面図に図示して、注意喚起を行う。（見える化）
- など

さらに、  
床掃除のマニュアル  
を定め、ぞうきんの  
絞り方を統一し、滑  
りの原因となる床の  
濡れを防ぐ。

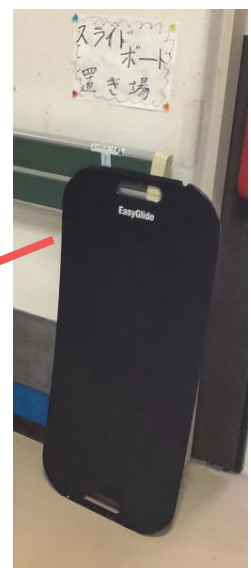


### 腰痛防止 介護機器・用具等を導入して、ノーリフトケアを推進する。



パワーアシストスーツ

利用者の移乗の際に係る、腰痛対策  
できるだけ複数人で対応する。



スライディングボード  
使用する機器は居室の近くに配備して、使いやすくする。

- その他、
- ・定期的な介護技術の社内研修の実施。
  - ・ラジオ体操、腰痛体操の取入れ。
  - ・腰痛健康診断を6ヶ月ごとに受診させる。

## その他の対策

- ・ K Y（危険予知）活動の実施。
- ・ 掲示を行い、注意喚起をする。
- ・ 労働災害は全社に情報共有する。
- ・ チェックリストの活用。

	チェック項目	☑
1	4 S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水濡れ等のこまめな清掃、障害物の除去、介護等の作業ができるスペースの確保等による転倒・腰痛災害の防止を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
2	作業マニュアルを施設の従業員に周知、教育していますか。	<input type="checkbox"/>
3	K Y（危険予知）活動による危険予知能力、注意力の向上に取り組んでいますか。	<input type="checkbox"/>
4	ヒヤリハット活動による危険個所の共有、除去を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
5	危険箇所の表示による危険の「見える化」を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
6	施設長、安全担当者による定期的な職場点検を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
7	朝礼時等での安全意識の啓発を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
8	転倒防止に有効な靴、介護機器・用具等の導入、使用の推進を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
9	腰痛予防対策指針に基づく健康診断を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
10	腰痛・転倒予防体操を励行していますか。	<input type="checkbox"/>
11	熱中症予防のための休憩場所・時間の確保をしていますか。	<input type="checkbox"/>

## 高齢労働者の安全衛生対策の参考

### 高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン （エイジフレンドリーガイドライン）

高齢者を現に使用している事業場やこれから使用する予定の事業場で、事業者と労働者に求められる取組を具体的に示したものです。



↑  
エイジフレンドリーガイドラインのパンフレット

## 利用可能なサービスなど

### 中小規模事業場安全衛生サポート事業 （中央労働災害防止協会）

中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます。

詳細はこちら →



### エイジフレンドリー補助金

高齢労働者の労働災害防止のために、対策を実施するに当たり、「エイジフレンドリー補助金」（補助率1/2、上限100万円）が利用できます。

詳細はこちら →



### 動画「【社会福祉施設】毎日3分でできる 転びにくい体をつくる職場エクササイズ」

動画では、転倒を予防するための職場で行える体操を紹介しています。転倒予防に効果的な「筋力」「バランス」「柔軟性」を向上する内容で、職場の健康づくりにも役立ちますので、ぜひ行ってみましょう。

Youtube動画 ↑



# SAFEコンソーシアム



← **SAFEコンソーシアム  
ポータルサイト**

厚生労働省は、労働災害の防止の取組を進めるための「従業員の幸せのSAFEコンソーシアム」を、令和4年6月20日に設立しました。

本コンソーシアムは、幅広い関係者（企業、団体等）の参画を募り、「Safer Action For Employees (SAFE)」を旗印に、新たな切り口による取組を進めていこうとするものです。

増加傾向にある労働災害（特に、日常生活でも発生しうる転倒や腰痛などの災害）の問題を自分ごととしてとらえ、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図っていくため、趣旨に賛同した企業、団体にコンソーシアムを構成し労働災害問題の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートしていきます。加盟は無料です。

## 福井県介護施設SAFE協議会

SAFEコンソーシアムの一環として、都道府県労働局ごとに小売業と介護施設について、令和4年度より協議会を設置して運営をしています。福井県の介護施設についても、県内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員とする「福井県介護施設SAFE協議会」を設置し、構成員による連携した取組を展開し、構成員の安全衛生管理の好事例を管内事業場へ水平展開を行うこと等により、福井県内全体の安全衛生に対する機運醸成を図ることを目的に活動しています。

### 福井県介護施設SAFE協議会構成員

- ・ 社会福祉法人弥生福祉会
  - ・ 社会福祉法人福井県社会福祉協議会
  - ・ 福井県老人福祉施設協議会
  - ・ 福井労働局（事務局）
  - ・ 社会福祉法人福聚会
  - ・ 福井県健康福祉部長寿福祉課
  - ・ 公益財団法人介護労働安定センター福井支部（順不同）
- （令和5年9月現在）

※「対策事例紹介」の写真については、構成員メンバーの施設、その他の施設にご協力いただきました。

## SAFEアワードへの応募のすすめ

SAFEコンソーシアムでは「SAFEアワード」という表彰制度を設けています。これは、企業、団体、事業場等に対して取組事例を募り、優良と認められる取組を進める企業、団体、事業場等を顕彰する制度です。取り組まれている事例があれば、積極的に応募してください。

SAFEコンソーシアムポータルサイト アワード関連ページ →  
（実際の事例も掲載されています。）



## 福井県介護施設SAFE協議会

(R5.9)